

# 有限会社パレット

宮城県栗原市

<http://www.palette-b.co.jp/>



## 経営理念

私達は感性と技術に磨きをかけ、お客様に満足の提供を目指します。  
私達は利他の心強い心を共に育み、豊かな成長を目指します。  
私達は最良のブランドを築き上げ、地域の幸福づくりに貢献します。

## 店舗概要

創業年 1986年(昭和61年)  
売場面積 223.1㎡(67.6坪)  
従業員 46人  
営業時間 9:00~19:00  
定休日 不定休  
売上高 373,189(千円)

## 商品構成

洋菓子 35.0%  
焼き菓子 15.0%  
パン 37.0%  
その他  
(ジャム等の農産加工品) 13.0%

## 明確な経営方針の下に地元の農産物を積極的に活用した商品作りを行う

[地元の農産物を活用した商品作り]

当店は、宮城県栗原市に所在する本店のほか、平成24年11月に開店する店舗を加えて4支店を展開している。地域・地元の農産物を積極的に活用した「畑のSWEETブランド」を商品化しており、平成22年から始めて20品目以上のシリーズに育てている(雪んこくるみ、特濃ピュアゼリー、栗原生ジャムなどのネーミングで地元産果物などの農産物を使用)。特に「くりはら特選ずんだ」は、7月下旬から10月上旬に取れた新鮮な朝どり枝豆を冷凍保存して使用しており、宮城県で初めての農商工等連携事業計画に認定されている。

また、衛生面に対する社員の意識向上を図り、安全安心の製品づくりを心掛けている。特に、真空加工技術という新しい加工技術(イタリア・ロボクーボ社の万



能調理機クボットを初めとするクーボシリーズを使用)を取り入れ、付加価値の高い製品づくりをしている。生菓子については、保管温度や持ち歩き時間を考慮し、購入してからの移動時間が3時間を超える場合には、原則として販売しないことなど顧客に十分説明し、理解を得るなどの接客を徹底している。

また、パンも製造販売しており、パンを品揃えすることにより客数の増加につなげており、オリジナル菓子と併せて手土産や贈答品需要にんでいる。

販売商品は、ケーキ焼き菓子約90アイテム、菓子パン調理パンなど100アイテム、ジャムなど農産加工品15アイテムを揃え、飲料以外はほとんど自社製造商品としている。

#### [店舗施設や販売促進のための工夫]

平成8年に本社本店を現在地に移転して新設。しかしその後宮城岩手内陸地震、東日本大震災といった震災被害を受けたため、平成23年にリニューアルオープンした。



くりこま高原駅に近いことから、高原の保養地風の外観を呈したデザインとし、白壁風の内装、天井は古材の柱をモチーフにし、什器や床は茶系のシックな店づくりに統一している。店内からは、工場の作業風景が見えるようにしており、製品のフレッシュ感をより一層引き出すよう工夫している。店舗、工場ともLED照明を設備し、洋菓子のショーケースも加湿機能を持ったLED照明として省エネ、鮮度保持に配慮している。

販売促進対策としては、毎年秋に大感謝祭を行うほか、年数回イベントを行っており、楽しく買い物をしていただき、顧客を飽きさせない工夫をしている(福引、福袋、特別価格、新商品試食会などを実施)。

また、「パレット友の会」のポイントカードを発行しており、入会金・年会費は無料、100円で2ポイント、マイバッグ利用で1ポイント、1ポイントから利用でき1年間有効として、固定客化を図っている。

当店は、地方にある菓子店のため、低価格商品もそろえている(例えば120円のシュークリームなど)。ネット販売にも積極的に取り組み、月に30~40万円の売上があり、毎年売り上げが伸びている。

#### [経営方針の明確化と従業員のモチベーション向上など]

経営理念に重きを置いた「理念経営」を目指している。毎年、関係業者や金融機関などを招き、経営指針発表会を開催している。発表会の前に、年1回の経営方針の検討会を社員とともにし、策定している。この経営方針に基づき個別方針を検討し、改善策に取り組んでおり、経営目標には売上目標や利益目標が含まれている。

本店、古川店にそれぞれ工場を併設しているため、店長、製造・販売それぞれの主任をメインにチーム運営を基本としている。パン・菓子製造と特殊な加工技術の育成には、スタッフのやる気の醸成が一番重要となっており、優秀社員や目標達成をした社員を表彰している。

また、会社、社員によるオリジナル商品の開発製造を可能とするため、社員に対し各種技能講習

会に積極的に参加を促し助成を行い、技能や知識向上に取り組んでいる。食品衛生の観点から、各部署ごとに細かい業務マニュアルを定め、管理指導の徹底を図っている。

更に、マニュアルに頼るだけでなく、日々の報告、日報なども含め、コミュニケーションの充実に努めている。ロスの低減を図るため、生産ロスをコンマ以下に、売れ残りロスを2~3%以下に収まるよう努力しており、生産計画などにPOSデータを活用している。

---

#### 【店舗立地】

店舗は、本店及び4支店で栗原市(2店)、大崎市(2店)及び仙台市(1店)に展開。

本店は、栗原市役所から100m位のところにあり、正面には栗原文化会館がある。

栗原市は10町村の合併で成立しているため、市役所周辺でも商店が点在する住宅地という印象。

競合店はないとのこと。店舗の売上は本店と古川店が多く、2店で8割近くに上っている。客層は女性客と中高年齢層が多く、女性客が70%、40代以上が60%を超えると見られている。

#### 【店舗実績】

経営者は、栗原市出身で宮城県農業短期大学を卒業後、一時就農したが、その後市内築館の菓子店のほか数店で修業後独立、昭和61年に有限会社パレットを設立して創業。

平成17年大崎市古川に2号店を出店。平成20年に地元農産物の加工販売に着目した新規事業を手掛け、21年にこの事業で宮城県初の農商工連携事業計画の認定を受ける。

「畑のスイーツ」を主力ブランドとして、宮城県はもとより全国に販路を拡げている。



↑代表取締役の高橋 寛さん

---